

「認知症」は高齢になるとかかりやすくなることから、長寿社会となった日本では、身近な病気になりつつあります。

しかし、まだまだ認知症について正しい知識を持っていない人が多いという現状があります。認知症に対する誤解や偏見は、認知症の人をケアする時に大きなさまたげとなります。認知症について正しい知識をもち、安心できる認知症ケアにつなげられるように努めて行きましょう。



「家族が認知症になったら・・・」

家族が認知症になった時、これまでの本人からは考えられないような言動がみられ、どう接したらいいのか戸惑い、不安に感じたり、否定しようとするところがあると思います。

しかし、責任感の強い人ほど「自分が面倒みなければ・・・」と思い込む傾向があります。これは、**要注意**です。

認知症は医療とともに適切な介護が長期的に必要な病気です。

認知症の方に適切なケアと介護者の負担を軽減し、介護者自身の健康と生活を維持する為にも、積極的に地域の医療や福祉サービスを活用するなど、外部との連携を図っていくといいですね。

介護に正解はありません。一人で抱え込まず、介護者自身の生活も大切にしましょう。



ふくつオレンジカフェ松風

(5月27日 開催)

本日は、カフェにお見えの方が少なかったので、スタッフも一緒にテーブルでゆっくりお話しに加入ることができました。そこでは、働いていた頃のお話、青春時代のお話、趣味や特技・・・と、様々な話題がのぼっていたようでした。笑い声と楽しい会話が響いていました。



8月のカフェのご案内

8月22日(水)

14:00~16:00 OPEN

毎日、暑いですが熱中症に気を

つけてくださいね。

お気軽にお越しください